1章 携帯電話の所有・利用状況



1 所有・利用状況

スマートフォン比率は



96.3%
（2台目まで含む）

メーカーシェアは

Appleがトップ

1台目 約45% 2台目 約50%

今の端末はいつから使っている?

スマートフォン  **2年3ヶ月前**

フィーチャーフォン  **4年8ヶ月前**

2 スマートフォン利用行動

スマートフォンの利用時間は

若年層・女性が長時間利用の傾向



日常的に使うアプリの数は

若年層が多い傾向



起床後すぐ・就寝前にスマートフォンを使用するのは

若年層が多い傾向



3 健康意識とICT利活用調査

スマートウォッチの利用率は



約1割

体組成計・血圧計は世代が上がるほど利用率が増加

スマホ・タブレット・パソコンとの連携データは



約4割が歩数を取得

同世代の人と比べて自分は健康か?

40～59歳の男性	そう思わない傾向が高い
60～79歳	他の世代と比較して肯定的

※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

2章 モバイルコミュニケーション

1 連絡手段

音声通話の利用率は

LINE　増加傾向

携帯電話所有者の7割超

連絡手段で多く使われているのは

同居・別居家族、友人

LINEでのメッセージ　　増加傾向

携帯電話でのメール　　ゆるやかに減少傾向

2 ソーシャルメディアの利用状況

LINE　8割強

Twitter　4割強

Instagram　4割強

Facebook　2割強　

LINE	50代以下の男性と60代以下の女性の過半数が毎日利用
Twitter	10～20代の6割程度が毎日利用
Instagram	10～20代女性の7割程度が毎日利用

3 SNSの使い分け・情報収集

ニュースを得ているメディアは

10～20代	ソーシャルメディア
30～70代	テレビ



お買い得・趣味情報を得ているメディアは

10～30代	ソーシャルメディア
40代	Webサイト・アプリ
50～70代	テレビ





※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

3章 コンテンツとメディア

1 ユーティリティ系サービス

コンテンツやアプリケーションの利用率は

情報検索 約8割

電子メール 地図・ナビゲーション 約7割

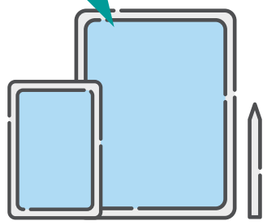
各音声検索サービス

認知率は？ 全体的に **横ばい傾向**

利用率は？ 「Google音声検索」「Amazon Alexa」 **微増**

2 ネット購買

直近の1ヶ月にショッピングサイトで購入した品物の種類



携帯電話 タブレット



洋服類



パソコン



健康食品 一般食品

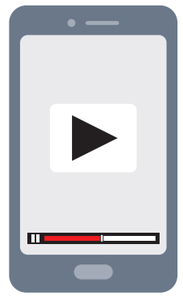




3 動画利用状況

無料動画サービスは

YouTubeが強い
利用率は約7割



有料動画サービスは

Amazonプライム・ビデオの認知率がトップ
「Hulu」「Netflix」が続く



ライブ動画サービスでは

「YouTube Live」「インスタライブ」の利用率が高い

※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「 モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

4章 ニューノーマル

1 ニューノーマルでの生活

生活で定着したと思うこと

- キャッシュレス決済 約7割
- ネットショッピング 約6割

コロナ後に活動機会が増えたのは

- YouTube 約6割



感染症予防対策

- ネットバンキング 約2割
- スマホ除菌 約2割

2 在宅勤務・テレワーク

テレワークのメリット

- 通勤時間の有効活用 約半数



テレワークのデメリット

- 仕事と仕事以外の切り分けが難しい 約4割

オンライン会議のマナー

- ●話さない時はミュート
- ●事前接続準備
- ●家族やプライベートが映らないように



約4割

3 新たなサービスの利用意向・生活のデジタル化

AIへの期待が大きいのは



- 生活家電 約6割
- 医療　グルメ・旅行　コミュニケーション 約5割

現金派？ 非現金派?



現金派 4:6 非現金派



生活でデジタル化が進展したと思うのは



- 買い物 約7割

※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「 モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

5章 安心・安全

1 携帯電話のマナー

「歩行中の使用」「食事中の使用」

30代以下の携帯電話利用者 **6〜7割弱**が行っている



- 歩行中 10代の約7割が使用
- 食事中 10〜30代の約6割が使用

他者の携帯電話使用



年代が上がるに伴い **気になる傾向**

- 歩行中 70代の約5割
- 食事中 60代以上の約4割

2 携帯電話のセキュリティ対策

セキュリティ対策としてやっていること

画面ロック（パスワード・指紋認証など） **6割強**



年代が上がるほど **実施率は低下**

70代では約4割

何も対策していない **2割弱** **減少傾向**

18歳未満の子どもへのフィルタリング設定率

上昇傾向 **2023年では4割程度**



※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

6章 防災・減災

1 災害への備え

非常用持ち出し袋や水・食糧などの備え



年代が上がるほど **多い**

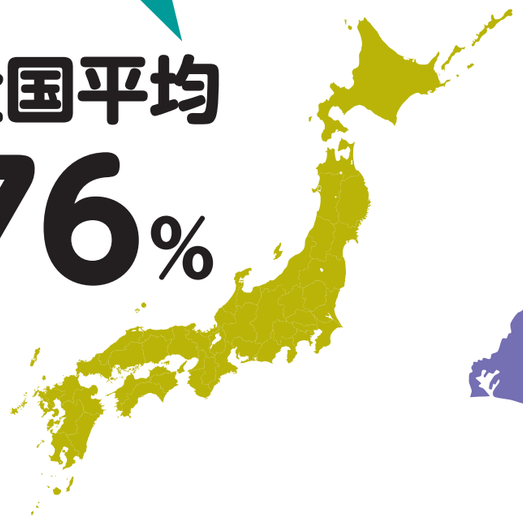
モバイルバッテリーの準備



若い世代ほど **多い**

ハザードマップの認知率

全国平均 **76%**



静岡県 **88%で最も高い**

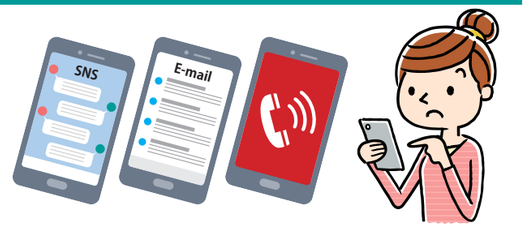


2 災害情報の伝達・収集

自治体の災害情報配信サービスの登録

約**4割**





防災・災害情報アプリ

インストールされている **年々上昇**

大雨・台風災害時の情報収集手段

テレビ



7割超

エリア別

テレビ **全エリアで7割程度**

防災無線とサイレン **北陸で4割超**

インターネットの閲覧 **関東と甲信越で6割超**

※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「 モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

7章 子どものICT利用

1 子どもが所有している端末とICT利用

所有している携帯電話の種類

小学生	スマートフォンがキッズケータイを上回る
中学生	携帯電話の所有 約8割

毎日YouTubeを利用する子ども



小学生	約7割
中学生	約8割

疑問に思ったことをインターネットで調べる

小学生高学年	6割超
中学生	7割超

2 保護者の意識と親子間ルール

子どものICT利用に期待すること

情報を適切に収集する力が身につく

小学生高学年・中学生で 5割超



子どものICT利用への不安

健康への悪影響　スマホへの依存　友だちとのトラブル

保護者の8〜9割が不安視

スマートフォン利用の親子間ルールの設定率



料金(課金)に関するルール → 全学年で高い

3 学校との関わり

学校から貸与されたタブレット・パソコン

家庭での利用	増加傾向
貸与率	全学年で7割超

学校の授業でのタブレット・パソコンの使用

週に2、3回以上は小学生高学年・中学生が 約6割



ICTを使った勉強

「わかりやすい」と感想



8割超

※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。

8章 シニアの生活実態とICT利用

1 ICT端末所有とサービス利用

スマートフォン所有率

- 60代 約9割 → 地域差は少ない
- 70代 約8割 → 地域差がみられ、関東・東海・近畿が高い

インターネット利用時間

- 男性：スマホとパソコンは同程度
- 女性：パソコンよりスマホが多い



SNSの受信・閲覧と発信

- Twitter・Facebook・Instagram：利用者の半数程度が発信

2 生活の中でのICT利用

インターネットショッピング

関東・近畿の利用が高い 約3割

家族、知人・友人との交流

スマホ・ケータイの利用で増えた



- 女性：5～6割
- 男性：4割程度

スマホへの態度・距離感

「持っていると便利」が 9割超

「操作は難しい」が 7割程度

3 情報格差とICTへの期待

ICTを使いこなせないことで感じた損失

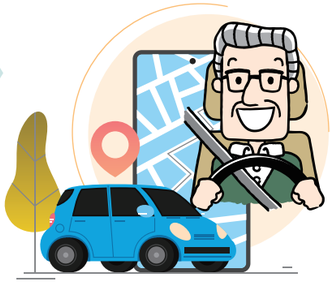
- 災害情報損失：70代の約3割
- 経済損失：女性が高い

新たなサービスへの期待

- 電話での認知症早期発見：60代女性の3人に2人が期待



- 自動運転：60代の約半数が期待



※各調査の概要および基本データ、調査結果の詳細については、「モバイル社会白書2023年版」にてご確認をお願いいたします。